



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0 使用評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)月寒西1条 学生寮 新築工事	階数	地上5F
建設地	豊平区月寒西1条11丁目443-31の内	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域	平均居住人員	114 人
建物用途	集合住宅	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
竣工年	2021年3月 予定	評価の段階	実施設計段階評価
敷地面積	1,963 m ²	評価の実施日	2020年3月10日
建築面積	989 m ²	作成者	確認日
延床面積	3,983 m ²	確認者	2020年3月10日



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.5 ★★☆☆☆ B-

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 一次エネルギー消費量の評価
建物全体の[BEI][BEIm]= 0.84

2-5 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 2.0

Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.4

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 1.8

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 1.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.0

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.9

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.3

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.6

3 設計上の配慮事項	
総合 断熱仕様に優れた建物とした。	A 省エネルギー 断熱性能を充実させ、省エネに配慮した
B 省資源等 照明器具はLEDを多用した。	C 緑化 緑保全創出地域制度を満たす緑化計画とした
	D 雪処理 建物周囲に空地を設け、除雪スペースとしても活用できるようにした。

4 ほかの認証・評価制度の利用			
(財)建築環境・省エネルギー機構のCASBEE認証	-	BELS認証	-
上記以外の認証・評価制度の利用		LEED認証	-

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

CASBEE札幌2016(ver.1.4)
 (仮称)月寒西7条 学生寮 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.4)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄				建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	全体
配慮項目	重点 評価項目		環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数			
Q 建築物の環境品質									2.0	
Q1 室内環境					0.40		-		2.4	
1 音環境				3.0	0.15	3.5	1.00		3.4	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.50	3.0	0.50			
1.2 遮音				3.0	0.50	4.1	0.50			
1 開口部遮音性能			アルミサッシ + プラストサッシ(複層ガラス)採用	3.0	1.00	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能			TLD50の乾式間仕切		-	4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			コンクリート t=150以上		-	4.0	0.20			
1.3 吸音					-	-	-			
2 温熱環境				2.6	0.35	2.6	1.00		2.6	
2.1 室温制御				4.2	0.50	4.2	0.50			
1 室温			専有部・共有部にエアコンを実装	5.0	0.63	5.0	0.63			
2 外皮性能	省エネ			3.0	0.38	3.0	0.38			
3 ゾーン別制御性					-	-	-			
2.2 湿度制御				1.0	0.20	1.0	0.20			
2.3 空調方式				1.0	0.30	1.0	0.30			
3 光・視環境				1.2	0.25	1.6	1.00		1.5	
3.1 昼光利用				1.8	0.30	3.0	0.30			
1 昼光率				1.0	0.60	3.0	0.50			
2 方位別開口					-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備	省エネ			3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策				1.0	0.30	1.0	0.30			
1 昼光制御	省エネ			1.0	1.00	1.0	1.00			
2 映り込み対策					-	-	-			
3.3 照度				1.0	0.15	1.0	0.15			
3.4 照明制御				1.0	0.25	1.0	0.25			
4 空気質環境				2.6	0.25	2.5	1.00		2.5	
4.1 発生源対策				3.0	0.60	3.0	0.63			
1 化学汚染物質				3.0	1.00	3.0	1.00			
4.2 換気				2.0	0.40	1.6	0.38			
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能					-	1.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.50	1.0	0.33			
4.3 運用管理					-	-	-			
1 CO ₂ の監視					-	-	-			
2 喫煙の制御					-	-	-			

Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	1.8
1 機能性			1.7	0.40	1.4	1.00	1.4
1.1 機能性・使いやすさ			1.0	0.40	1.0	0.60	
1 広さ・収納性				-	-	-	
2 高度情報通信設備対応				-	1.0	1.00	
3 バリアフリー計画			1.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性			1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観 (天井高)				-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース				-	-	-	
3 内装計画			1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理			3.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		外壁や内装材は更新が容易な材料を選定した	4.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保			3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性			2.5	0.30		-	2.5
2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能			3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数			2.8	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		省資源	2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		省資源	3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		省資源	3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		省資源	3.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		省資源	3.0	0.20		-	
2.4 信頼性			1.0	0.20		-	
1 空調・換気設備			1.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備			1.0	0.20		-	
3 電気設備			1.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法			1.0	0.20		-	
5 通信・情報設備			1.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			1.6	0.30	1.8	1.00	1.7
3.1 空間のゆとり			-	-	1.6	0.50	
1 階高のゆとり			-	-	2.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			-	-	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	2.0	0.50	
3.3 設備の更新性			1.6	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性			1.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			1.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			1.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			1.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出	緑化		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	緑化		2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	雪処理		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネ		3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用	省エネ		2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化	省エネ	[BE][BEIm] = 0.84 -	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング	省エネ		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネ		-	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	省エネ		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネ		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.3
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.2	0.60	-	-	2.2
2.1 材料使用量の削減	省資源		2.0	0.13	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	省資源		-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源		3.0	0.25	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源		1.0	0.25	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	省資源		2.0	0.13	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	省資源		3.0	0.25	-	-	

3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	1.00	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			-	-	-	-	
1 消火剤	省資源		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	省資源		-	-	-	-	
3 冷媒	省資源		-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.6
1 地球温暖化への配慮	省資源		3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮			2.3	0.33	-	-	2.3
2.1 大気汚染防止	省資源		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	省資源 省資源 省資源		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	省資源		1.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	省資源 電処理		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制				-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	



■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2016(ver.1.4)

1 建物概要		BEE	0.5	BEEランク	B ⁻
建物名称	(仮称)月寒西1条 学生寮 新築工事				
建物用途	集合住宅				
延床面積	3,983.2 m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	<p>省エネルギー性能 5.0 4.0 3.0 2.0 1.0 0.0</p> <p>雪処理</p> <p>省資源等への取組</p> <p>緑化への取組</p> <p>★1=スコア(最低点~最高点)20%以下 ★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下 ★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下 ★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下 ★5=スコア(最低点~最高点)80%以上</p>
	省資源等	
	緑化	
	雪処理	

3. 重点項目のCASBEEスコア							
A 省エネルギー (最高点 23.5 最低点 7.4)				合計	17.1点 /23.5点		
Q1 温熱環境	スコア	0.8	／1.4	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	2.4	／4.0
Q1 光・視環境	スコア	0.7	／2.1	LR1 自然エネルギー利用	スコア	0.8	／2.0
				LR1 設備システムの高効率化	スコア	10.0	／10.0
				LR1 効率的運用	スコア	2.4	／4.0
B 省資源等 (最高点 21.8 最低点 6.9)				合計	10.6点 /21.8点		
Q2 耐用性・信頼性	スコア	0.6	／1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	4.1	／9.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.9	／2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	0.0	／0.0
				LR3 地球温暖化への配慮	スコア	3.0	／5.0
				LR3 地域環境への配慮	スコア	2.0	／4.4
C 緑化 (最高点 15.3 最低点 3.1)				合計	5.2点 /15.3点		
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	0.9	／4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.0	／2.5
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	2.4	／6.0				
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.9	／2.3				
D 雪処理 (最高点 3.0 最低点 0)				合計	2.0点 /3.0点		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.0	／1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.0	／2.0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■重点項目の**最高点**は、各評価項目で**レベル5**で評価された場合の点数
 ■重点項目の**最低点**は、各評価項目で**レベル1**で評価された場合の点数